

地域女性活躍推進『つながりサポート型』事業

【兵庫県宍粟市】

地域の実情と課題

宍粟市において実施したアンケート結果によると「男女の地域平等感」について「男女平等になっている」と感じている人の割合は1割程度にとどまっている。性別による役割分担意識が根強く残る地域性や、コロナ禍における経済状況の悪化等の影響を受け、生活困窮や、離婚、DVに関する相談が増えてきている。また、女性の自殺の増加や、引きこもりの子どもを抱え精神的に苦慮している母親も少なくない状況にあ

事業の特徴

- ①NPO法人に寄る居場所の提供（女子会や家族会の開催）
- ②NPO法人によるアウトリーチ型の相談支援
- ③男女共同参画センター相談員やDV担当、ひとり親家庭相談担当等の連携による女性のための相談日の開催
- ④生活困窮者自立支援担当との連携による就労支援
- ⑤女性相談員による女性のための相談日を開設し、孤独や生きづらさを

事業の効果

女子会等の開催により居場所を提供し、ネットワークづくりを推進することで生きづらさを和らげ、地域社会とのつながりを促進するとともに、就労準備や就労支援など個々に応じた支援につなげることができた。また、アウトリーチによる相談支援を実施することで個々に寄り添った相談を受けることができた。さらに、必要に応じて、就労支援窓口や、社協の食のセーフティネットなど公的な支援にもつなぐことができた。

- ①女性の居場所づくりに参加した人数
(目標値) 実20人以上 (実績値) 実17人参加
- ②アウトリーチによる相談者数(目標値) 訪問回数: 延20回以上

目的・目標

引きこもり支援等を行っているNPO法人の知見や経験、ノウハウを活かし孤独や生きづらさを感じている女性の居場所として女子会や家族会等を開催、また、個別訪問等を行うことで社会とのつながりを回復し、地域社会において再び活躍できるよう寄り添い方の支援を行う。また、男女共同参画センターやDV担当、母子自立支援員等が部署を越えて連携を図りながら、女性による女性のための相談日を開催し、相談内容に応じて女子会等への参加の呼びかけや就労支援窓口へのつなぎや付き添い等を行う。

連携団体

- ・男女共同参画センター
- ・人権推進課
- ・社会福祉課
- ・福祉相談課
- ・地域創生課
- ・NPO法人
- ・総合的な仕事の相談窓口(市の委託先)

今後の課題

生きづらさを抱えている女性の居場所を提供するという主旨から、オープンに広報周知活動を行うことが難しい。いかに支援を必要としている人にこの活動をPRし参加等を呼びかけていくかなどその手法に課題がある。

また、男女共同参画センターは市の直営であり、市の相談窓口は敷居が高いと思われる方も多く、さらに相談しやすい窓口のあり方について

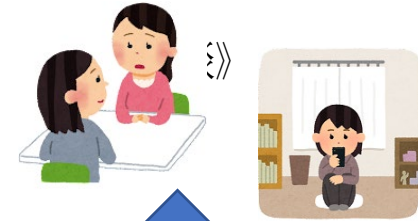
事業の概要

委託先 (NPO法)

《居場所の提供》
女子会や家族会の開催



《アウトリーチによる相



市社協

食のセーフティネット

関係機関との連携会議

その他の機関

- ・ 社会福祉協議会
- ・ 総合的な仕事の相談窓口
- ・ 生活困窮者自立相談支援事業所

公的サービスの
提供

居場所の紹介等

居場所の紹介等

市健康福祉部

- ・ 社会福祉課 (婦人相談員、DV相談窓口、
母子父子自立支援員等)
- ・ 福祉相談課 (引きこもり相談支援担

連携

男女共同参画センター

- ・ 女性による女性のための相談日の開設
- ・ 生理の貧困に関する取組
(女性のための相談窓口の周知・啓発)

市地域創生課

【市の政策・
施策調整機関】

- ・ 女性活躍プロジェクトチームによる事業提